

教育委員会事務局学校教育課

1 学校教育関係

(1) 学校別就学児童生徒数

ア 小学校

令和5年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	
明道小学校	14	314	14	313		△1	岡崎 尚二
義方小学校	19	421	20	416	1	△5	藤谷 雄一
啓成小学校	15	276	16	292	1	16	安部 悟
就将小学校	18	344	17	322	△1	△22	三木 徹
車尾小学校	21	498	22	490	1	△8	坂本 貴俊
福生東小学校	25	548	25	534		△14	錦織 剛一
福生西小学校	14	276	14	273		△3	大塚 恵子
福米東小学校	28	560	28	570		10	井田 剛
福米西小学校	27	601	27	597		△4	内田 弘之
加茂小学校	25	555	26	570	1	15	山浦 俊也
河崎小学校	11	209	13	219	2	10	吉田 章一
住吉小学校	28	597	26	568	△2	△29	村中 祥宏
尚徳小学校	8	176	11	158	3	△18	足立 彰子
五千石小学校	8	120	8	125		5	戸谷 譲司
彦名小学校	12	216	10	203	△2	△13	山根 真奈美
崎津小学校	8	143	8	136		△7	河本 里美
大篠津小学校	9	85	9	86		1	笠井 和観
和田小学校	8	86	8	91		5	福田 哲周
弓ヶ浜小学校	21	495	22	515	1	20	山本 美江
成実小学校	8	159	8	153		△6	青山 武司
箕蚊屋小学校	16	286	16	297		11	灘脇 俊彦
伯仙小学校	18	365	14	368	△4	3	吉田 誠克
淀江小学校	22	513	24	508	2	△5	濱田 丈司
合 計	383	7,843	386	7,804	3	△39	

イ 中学校

令和5年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
東山中学校	16	373	16	377		4	高多 宏樹
福生中学校	14	376	15	364	1	△12	安次 里絵
福生中学校いずみ分校	2	7	3	13	1	6	安次 里絵
福米中学校	22	604	23	573	1	△31	福田 知浩
湊山中学校	15	327	14	330	△1	3	林原 ゆかり
後藤ヶ丘中学校	23	559	23	553		△6	松尾 直樹
美保中学校	8	143	9	153	1	10	小谷 斉
弓ヶ浜中学校	15	353	12	324	△3	△29	玉野 伸也
尚徳中学校	11	239	11	228		△11	奥田 和弘
加茂中学校	14	361	14	340		△21	大塚 秀策
淀江中学校	11	259	11	256		△3	八幡 晋史
合 計	151	3,601	151	3,511		△90	

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
箕蚊屋中学校	18	427	17	406	△1	△21	金川 朋史

(2) 指導関係

ア 学校計画訪問

学校の管理・運営の実態及び教育実践の状態を把握するとともに、当面する問題点や現場の意見を聴取した。

訪問校 17校

臨時訪問校 35校

イ 知能検査、心理検査の実施

(ア) 小学校2年・4年、中学校1年に知能検査実施

(イ) 小・中学校全学年に心理検査実施

(3) 研修関係

教員の派遣研修

ア 小・中学校管理職研修会（8月）

イ 小・中学校教頭研修（6、8、11月）

ウ 小・中教務主任研修会（小：6月、12月 中：8月、1月）

エ 特別支援教育研修会（5月）

オ 小・中学校人権教育研修講座（6月）

(4) 障がいのある児童生徒の就学指導

米子市教育支援委員会を8月、9月、11月、1月に開催し、個々の障がいに応じた適正な判定と就学指導について審議した。

(5) 不登校児童生徒対策事業

教育支援センターぷらっとホームにおいて、市内小・中学校の不登校および不登校傾向児童生徒を対象に学習支援、自立支援を実施した。校内サポート教室を市内1小学校（市1）8中学校（市5、組合1、県2）に設置し校内での多様な学びの場を設置した。

(6) コミュニティ・スクール推進事業

コミュニティ・スクール未導入の学校については、地域住民の信頼に応え、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため、保護者や地域住民等からコミュニティ・スクール準備会委員を委嘱し、意見を聴き学校運営に反映した。

(7) スクールソーシャルワーカー活用事業

教育委員会に専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー10名の配置、及び、専門的知見を有するスーパーバイザーを外部委託し、問題を抱えた児童生徒に対し当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワーク活用などの支援活動を行った。

(8) 通級指導教室整備事業

明道公民館3階と市内小中学校に通級指導教室を設置し、支援の必要な子どもたちのニーズに応じた指導や支援を行った。

(9) 小学校少人数学級の実施

少人数学級（1年生から4年生は1学級30人、5年生から6年生は1学級35人）の実施に伴い、3年生から6年生について加配教員（12校21人）に要する人件費の一部として4,200万円を鳥取県に寄付した。（1学級当たり200万円）

(10) 中学校少人数学級の実施

少人数学級（１年生は１学級３３人、２・３年生は１学級３５人）の実施に伴い、２・３年生の加配教員（８校１６人）に要する人件費の一部として３、２００万円を鳥取県に寄付した。（加配教員１人当たり２００万円）

(11) 英語指導助手配置事業(民間委託事業)

６名の英語指導助手が市内小学校・中学校の巡回英語指導を実施した。

(12) 児童生徒定期健康診断

ア 結核健康診断

結核健康診断問診票により、要精密検査となった者又は学校医その他の担当の医師において必要と認める者に対して、胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施した。

区 分	精密検査		有所見者	異常なし
	対象者数	受検者数		
小学校	1	1	0	1
中学校	3	2	0	2
合 計	4	3	0	3

イ 心電図検査

小学校第１・４学年および中学校第１学年全員を対象に実施した。

区 分		対象者数	受検者数	要精検者数
小学校	第１学年	1,272	1,271	20
	第４学年	1,357	1,352	30
中学校		1,289	1,281	26
合 計		3,918	3,904	76

ウ 尿検査

全児童、生徒を対象とし、試験紙法によって蛋白・糖・潜血の三法で実施した。

区 分	対象者数	受検者数	陽性者数		
			蛋白	糖	潜血
小学校	7,806	7,789	21	6	41
中学校	3,915	3,861	48	4	60
合 計	11,721	11,650	69	10	101

(13) 教職員定期健康診断

ア 定期健康診断

教職員を対象に定期健康診断を実施した。

区 分	受検者数
小学校	423
中学校	253
合 計	676

イ 結核健康診断

教職員を対象に胸部エックス線検査を実施した。

区 分	受検者数	被発見者数
小学校	417	0
中学校	228	0
合 計	645	0

ウ 胃の検査

４０歳以上の教職員を対象に胃部エックス線透視撮影を実施した。

区 分	受検者数
小学校	129
中学校	99
合 計	228